

岐阜県立

GIFU ACADEMY OF FOREST SCIENCE AND CULTURE

森林文化アカデミー



森と木の エンジニア科

2027年度 入学案内

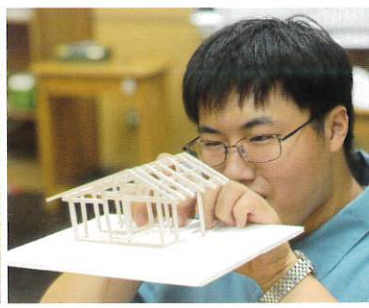
対 象 高校卒業程度

修業年限 2年制

定 員 20名



現場から日本の森を元気に。



森と木の エンジニア科

『人』『場』『モノ』を活かした、現地現物主義の学び。
現場で自ら考え、行動できる「技術者」を目指します。

森を育て、木材を収穫する林業、伐りたされた木材を加工する林産業、これらは森林資源の持続的な利活用を担う重要な産業です。

森と木のエンジニア科の学びの目標は、「林業・林産業の多様な現場において、安全な作業条件を自ら確立しつつ、より経済性の高い生産を担う技術者になる」ことです。

1年生では、林業・林産業に関する基本的な知識と技能を学び、2年生になるとより専門的な林業と林産業の2つのコースに分かれ、2年間で、社会に出て活躍するための姿勢・能力をあわせて身に付けます。

育林

伐採

搬出

製材

建築

岐阜県立森林文化アカデミーの最大の特徴は、校舎のすぐ後ろに広がる33haもの「演習林」。

「演習林」で造林し、計画的に伐採した木を搬出、製材・加工し、できた建材や木工製品などが暮らしに届く。

「川上から川下まで」の流れを実感しながら林業を学ぶことのできる、全国でも唯一の学校です。

同じ学内に大卒・社会人経験者の学科もあるので、森と木に関わる多くの世代の学生との友好関係ができ、「森林環境教育」「木造建築」「木工」という幅広い分野の教員から多様な学びを得ることもできます。

1年生の 学び

森林の基本的な知識を学び、多くの実習で現場技術を身に付ける

入学して1年目は林業・林産業をはじめ森林に関連する基礎分野を全学生が共通に学びます。

特色 1

森づくりの基礎を学ぶ

造林や測量、測樹に関連する各種の技術を、理論と作業を結びながら、学びます。



森づくり・植栽



測量

特色 2

樹木の生態を学ぶ

樹木の生理や生態に関する座学に加え、フィールドでの樹木同定や育苗、立地に関する実習を通して樹木の生態について学びます。



樹木同定



育苗

特色 3

林業機械や道具の 基礎を学ぶ

ナタの刃研ぎからチェーンソー操作まで、安全かつ効率的な作業につながる技術を学びます。



ロープワークとぶり縄



チェーンソー操作

特色 4

木材利用と流通の 基礎を学ぶ

森の木が、原木から木材になり、人々の暮らしに入っていく、流通の現場を体験します。また、木造建築の木の使い方も学びます。



丸太からの製材



木造建築の計画



2年生の学び

2つのコースに分かれて
専門分野を学びます

林業コース

Forestry Course

山から木を出すまでの仕事



森林の実践的な管理技術や 安全で効率的な木材生産技術を学ぶ

1年生で学んだ基礎的な知識と技術をもとに、林業を担う技術者として必要な造林・育林の森林管理技術、伐採・搬出の木材生産技術、森林作業道の道づくり技術などを実践で学びます。



林業コースの学生と実習で使用する高性能林業機械



高性能林業機械フォワーダによる車両系木材伐出の特別教育



いま森にある問題に取り組む「森林獣害」

特色 1 安全で効率的な林業を学ぶ

「スイングヤーダ」「フォワーダ」など高性能林業機械を操作し、木材生産の現場技術を学びます。

特色 2 より実践的な森林管理技術を学ぶ

広葉樹の森づくりなど、応用的な森林管理や、昨今社会問題となっている獣害対策など、様々な現場に対応するための技術を学びます。

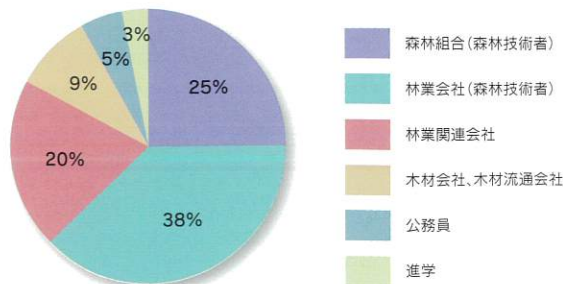
在学中に取得できる資格

- 伐木等の業務に係る特別教育修了証
- 刈払機取扱作業員に対する安全衛生教育修了証
- 機械集材装置の運転の業務に係る特別教育修了証
- 伐木等機械の運転業務に係る特別教育修了証
- 走行集材機械の運転の業務に係る特別教育修了証
- 簡易架線集材装置の運転又は架線集材機械の運転の業務に係る特別教育修了証
- 林業架線作業主任者講習修了証(実務経験2年で主任者の免許を取得できます)
- 大型特殊免許
- 玉掛け技能講習修了証
- 狩猟免許(わな猟)
- 車両系建設機械(整地等)運転技能講習修了証
- 不整地運搬車運転技能講習修了証
- 小型移動式クレーン運転技能講習修了証
- フォークリフト運転技能講習修了証
- ロープ高所作業特別教育修了証
- フルハーネス型墜落制止用器具取扱特別教育修了証

卒業後の進路

素材生産事業体(造林育林含む)、森林土木会社、森林組合、造園緑化会社、森林系公務員など森林の育成や木材生産に関する高度な知識や経験を必要とする職種が、主な進路先です。

また、4年制大学への3年次編入と、22歳以上を対象とした **森林文化アカデミーのクリエイター科**への進学も可能です。



林産業コース

Forest Industry Course

山から出してきた木を活用する仕事



木材の性質と付加価値を意識し 木造建築・加工・流通を学ぶ

林業が多くの産業と密接に繋がっていることを意識し、森林資源の利活用を学びます。山から伐り出してきた原木を木材として利用するために材木の性質を学び、木材の付加価値を見出すために木造建築・流通・品質管理・製品加工を学びます。



人工乾燥材の割れの観察

特色 1 木材を理解し、木材利用を考える

木材の性質を理解し、木材の面白さや強みを活かした木材流通・木材加工などを学びます。

在学中に取得できる資格

- 伐木等の業務に係る特別教育修了証
- 刈払機取扱作業員に対する安全衛生教育修了証
- 大型特殊免許
- 玉掛け技能講習修了証
- 狩猟免許(わな猟)
- 車両系建設機械(整地等)運転技能講習修了証
- 不整地運搬車運転技能講習修了証
- 小型移動式クレーン運転技能講習修了証
- フォークリフト運転技能講習修了証

取得を支援する主な資格

- 二級建築士(卒業後すぐに受験・実務経験2年で免許取得可能)
※所定科目を修了した場合
- 木造建築士(卒業後すぐに受験・実務経験2年で免許取得可能)
※所定科目を修了した場合



「林産学課題研究」の発表会



木を活かす「大工入門」

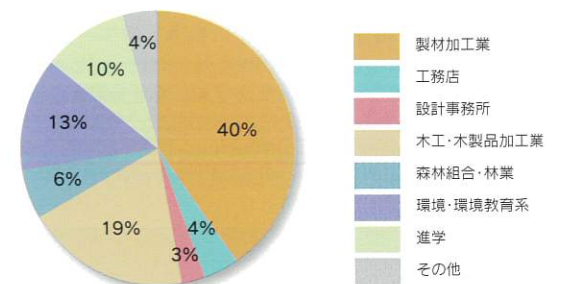
特色 2 手刻みからはじめる、木造建築

演習林の木で建てる「自力建設」と、木造に特化した高度で専門的な学びによって、木材を熟知した建築実務者を目指します。

卒業後の進路

意匠設計事務所、構造設計事務所、工務店、製材加工業、木製品製造業など、木材の利用に関する高度な知識や経験を必要とする職種が、主な進路先です。

また、4年制大学への3年次編入と、22歳以上を対象とした **森林文化アカデミーのクリエイター科**への進学も可能です。



卒業生紹介



杉山 珠風 さん (2020年3月卒業)

東濃ヒノキ白川市場協同組合

●どんな仕事を担当していますか？

自然が好きで、山の中で働きたかったのが今の会社を選びました。今担当している仕事は素材生産作業で、チェーンソーによる伐倒から、林業機械での集材、チェーンソーによる造材作業など、一連の作業を山で行っています。1本1本、木の特徴を捉えて伐倒、集材、造材を行うので、正解を求めていくのが楽しいです。

●アカデミーで得た学び

素材生産から製材、加工までの流れを体験できたので、川下を意識した仕事ができます。



吉田 十覇 さん (2024年3月卒業)

郡上森林組合

●どんな仕事を担当していますか？

現在は造林班に所属し、地植えや植栽、下刈り、切り捨て間伐などの造林作業を行っています。最近は里山林整備にも携わり、竹の伐採や重機・破碎機を用いた処理、下刈り機による除伐作業を行っています。

●アカデミーで得た学び

チェーンソーや刈り払い機のメンテナンス方法を学び、現場で不調が起きても修理箇所をすぐ判断できるようになりました。また目立ても習得し、山の中でも切れる刃を作ることで、効率的に作業を進めることができました。



木藤 直 さん (2018年3月卒業)

中部森林管理局 飛騨森林管理署

●どんな仕事を担当していますか？

林野庁の機関である森林管理署で、国有林を管理する仕事をしています。国有林では、間伐を始めとする森林整備や治山事業により森林の持つ公益的機能の維持増進を図る一方、持続可能な資源としての森林を活用すべく、素材生産事業や造林事業を行っています。現在は土木を担当していて、林道の維持管理や新設・改良工事の監督等の業務を受け持っています。

●アカデミーで得た学び

特に記憶に残っていることは、伐木造材や作業道作設の実習です。今の職場でチェーンソーや重機のハンドルを握る事はほとんどないのですが、実際に現場での作業や手順を知っていることは、仕事を計画的に進めていく上で大きなアドバンテージになっていると感じています。



高木 美暖萌 さん (2023年3月卒業)

岐阜県恵那農林事務所 林業課林務係

●どんな仕事を担当していますか？

岐阜県の林政部職員です。現在は、建築物の木造化や里山等の整備に関する補助、木質バイオマスや木育に関する業務を担当しています。

●アカデミーで得た学び

アカデミーでは木を伐るだけでなく、樹木同定で食べられる木の実を覚えたり、キャンプのスタッフをしたり…林業の現場で必要な技術だけでなく、実践を通して“森”に関する色々なことを学びました。業務の中で、チェーンソーや重機を使うことはないものの、基礎知識を知ったうえで行政に携われるのは、アカデミーで過ごした時間のおかげだと思います。



宮森 庸介 さん (2021年3月卒業)

クリエイター科への進学を経て、NPO法人 WOOD AC

●どんな仕事を担当していますか？

構造設計や住宅調査、木材の活用につながる様々な活動を行っている会社で、構造実験と構造設計を担当しています。

●アカデミーで得た学び

構造力学や木材の性質についての授業が生きています。力学が分かれば、試験体に力を加えた際に、どこに大きな力がかかっているかが分かるようになります。また、節や目切れなどの材料としての弱点もあらかじめ知っておくと、どういったところで破壊が起きるか、破壊が生じたときに、なぜ壊れたかが見えてきます。



中村 瑠偉 さん (2020年3月卒業)

一般社団法人 インク

●どんな仕事を担当していますか？

耐震性や断熱性、劣化状態を把握するための建物診断や改修設計を行っています。伝統的な建物や、思い入れのある建物を健全に改修し未来へ残すため、日々精進しています。

●アカデミーで得た学び

多くの人と関わり、協力してプロジェクトを進めていく大切さを学べました。どんな仕事でも、自分一人を進めることはできません。多種多様な分野の知識を持つ人と話し、価値観を共有し、切磋琢磨することで、常に向上心をもって物事に向かうことが出来るようになりました。



桂川 晃 さん (2018年3月卒業)

株式会社 東松

●どんな仕事をしていますか？

松の天然乾燥をメインに製材をしています。天然乾燥は、色、艶、香りがとてもよく、松の良さを1番引き出せる乾燥方法だと思っています。さらに乾燥機を使わない事で環境にも優しい乾燥方法です。一本一本の個性を最大限に引き出せるように常に木と真剣に向き合っています。

●アカデミーで得た学び

山から木工製品、林産物利用など様々な事を学びましたが特に大工合宿が勉強になりました。どのように加工するのかを知る事が出来たのでそれに向けての素材生産をどのようにすると良いのか考える良い経験になりました。



田口 木乃霞 さん (2022年3月卒業)

宇都宮大学 農学部 森林科学科(3年次編入)

大学卒業後、現在は岐阜県立の農林高校に就職、昔からの夢だった教員として活躍中！

●どんなことを学んでいますか？

林業や農業、木材組織、生物、物理、植物、土壌など、森林に関わる様々な分野を学んでいます。今は木材材料科学研究室に所属し、日本の早生樹であるキリの材質を研究しています。

●アカデミーで得た学び

林業の現場技術を身につけたことが、大学でも役に立っています。大学では実際に林業機械を使う機会がないものの、周りの友達に経験を伝えることができました。また、環境教育のボランティアや林業のアルバイトをしており、刈払機やチェーンソー、グラブを使うことができるため活動の幅が広がりました。アカデミーにおいて森林に関わる分野を全て、伸び伸びと学べたことが良い経験です。

岐阜は木の国、山の国。

岐阜県は森林率全国第2位、製材所数は1位。全国でも有数の木材の集積地。豊かな森が学びのフィールドです。

さらに飛騨の家具や本美濃紙など森林資源を活用した伝統工芸も盛んです。

アカデミーがある美濃市には歴史的な「うだつの上がる町並み」があります。

先人の知恵を尊重し、人の工夫を加えることで、より良い暮らしにつなげます。



充実の環境・設備で学びをサポート

隣接する33haの演習林や、様々な高性能林業機械、製材機など全国の林業系学校の中でも最も充実した環境・設備。



進化する木造建築群

面格子や樹状立体トラスで構成された7,500㎡の木造校舎群。地域材利用と計画で数々の建築賞を受賞！

morinosや林業機械学習棟でパワーアップする校舎。さらに学びに必要な機能や施設を自力建設で毎年増設。



「川上」から「川下」まで
森林資源の流れのすべてを学内で実現。



教員紹介



WAKUI Shiro
学長 涌井 史郎
専門分野 造園・ランドスケープデザイン
Taxus cuspidata イチイデイ科 イチイ属

全学生数80人に対し、
常勤教員が18人。
森と木に関わる
ユニークな専門家たち。
アカデミーだからこそ、
新しい試みや学びが
次々に生まれます。



SHIOTA Masahiro
林業 塩田 昌弘 准教授
専門分野 林産、森林作業道
足しげく通える森林をつくる。
1円でも多く、木材を通して利益を得る。
汗を厭わない若者が、
安全に、心豊かに働ける現場を目指す。
Fagus crenata ブナ ブナ科ブナ属



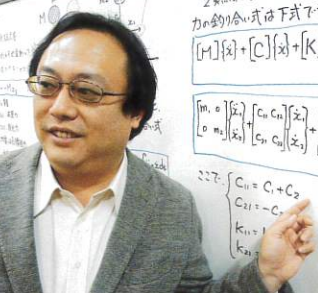
SUGIMOTO Kazuya
林業 杉本 和也 准教授
専門分野 林業における生産システム
森林作業における生産管理
伐採搬出作業におけるシミュレーション
持続可能な林業は
森・人・組織のマネジメントから。
Alnus matsumurae ヤハズハンノキ カバノキ科ハンノキ属



YANAGISAWA Nao
森林環境教育 柳沢 直 教授
専門分野 植物生態学
里山の自然を守り、
育み、有効活用する。
持続可能社会は里山から。
Acer mono var. ambiguum オニタヤ ムクロジ科カエデ属



HAGIWARA Nava Yusaku
森林環境教育 萩原・ナバ・裕作 教授
専門分野 自由な遊び & 自由な学び
環境教育 インタープリテーション
森のようちえん、プレーパーク、
インタープリテーション、
バーマカルチャー。
Magnolia obovata ホオノキ モクレン科モクレン属



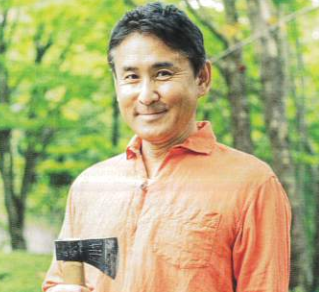
KOHARA Katsuhiko
木造建築 小原 勝彦 教授
専門分野 木造建築構造、
建築振動、住育
伝統構法～新構法の
木構造を専門とし、
IT技術との融合に取り組んでいます。
Zelkova serrata ケヤキ ニレ科ケヤキ属



TSUJI Mitsutaka
木造建築 辻 充孝 教授
専門分野 木造建築設計・温熱環境・
省エネルギー
木を活かす建築設計、
健康・快適性向上の温熱環境計画、
省エネ計画が専門。
Lindera triloba シロモジ クスノキ科クロモジ属



ISHIHARA Wataru
木造建築 石原 亘 講師
専門分野 木材利用、木材加工技術
木材のある暮らし、
木材と人との関わり、
一緒に考えていきましょう
Broussonetia kazinoki x B. papyrifera コウジ グワコジ属



KUTSUWA Masashi
木工 久津輪 雅 教授
専門分野 木工
グリーンウッドワーク（生木の木工）、
伝統工芸の原材料確保と
後継者育成支援。
Quercus crispula ミズナラ ブナ科コナラ属

特別招聘教授

隈 研吾 (建築家)
市川 晃 (住友林業株式会社 代表取締役会長)
末松 広行 (東京農業大学 農生命科学研究所教授)

名誉客員教授

三澤 文子 (Ms建築設計事務所 代表取締役)

客員教授

挾土 秀平 (職人社秀平組 代表)
小田 忠信 (株式会社クインビーガーデン 代表取締役)
飯島 健太郎 (東京都市大学 総合研究所教授・環境学部併任教授)

超一流の講師陣が、
ユニークで高度な
学びを
提供します。



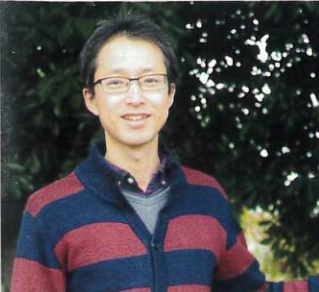
NIITSU Yutaka
林業 新津 裕 准教授
専門分野 森林空間の利活用
森林獣害・森林教育
施業と森林の空間利活用から
森林の持っている価値を見直す。
Quercus acuta アカガシ ブナ科コナラ属



KOBAYASHI Kenichi
森林環境教育 小林 謙一 准教授
専門分野 コミュニケーションデザイン
環境教育・インタープリテーション
多様な人が共創する場のデザイン、
プロジェクトマネジメント。
Sapindus mukurosi ムクロジ ムクロジ科ムクロジ属



YOSHINO Anri
木造建築 吉野 安里 准教授
専門分野 木材利用
き(木・気)づかい、
き(木・気)くばり。
Betula platyphylla シラカバ カバノキ科カバノキ属



MAENO Ken
木工 前野 健 准教授
専門分野 木育・木工・
木製玩具の企画・開発
木工と木育。おもちゃ遊び、
モノ作りを通して、街と森をつなぐ。
Sciadopitys verticillata コウヤマキ コウヤマキ科コウヤマキ属



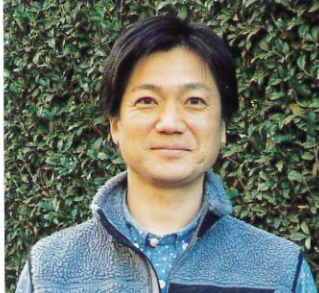
TSUDA Kaku
林業 津田 格 教授
専門分野 菌学・線虫学
きのこなどの特用林産物の利用と
森林保護。
菌を通して森林利用を考える。
Quercus serrata コナラ ブナ科コナラ属



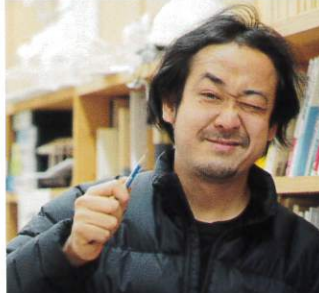
OBORA Tomohiro
林業 大洞 智宏 准教授
専門分野 森林施業(造林・育林)
自然環境、目的に合った
森づくりを考える。
Aesculus turbinata トチノキ ムクロジ科トチノキ属



NAKAMORI Satsuki
林業 中森 さつき 講師
専門分野 森林生態学
森林生態系の保全と管理
Cerasus jamasakura ヤマザクラ バロ科サクラ属



TANIGUCHI Goro
森林環境教育 谷口 吾郎 講師
専門分野 公園やビジターセンターの管理運営
環境教育・インタープリテーション
森・自然と人が出会う場として
自然公園・都市公園の在り方を探る。
Acer sieboldianum コハナチウカエデ ムクロジ科カエデ属



MATSUI Takumi
木造建築 松井 匠 准教授
専門分野 木造建築設計、空き家対策、
グラフィックデザイン
木組の家づくり、古民家の改修、
絵を描くことによる審美眼教育。
Acer pycnanthum ハナノキ ムクロジ科カエデ属



WATANABE Kei
木工 渡辺 圭 准教授
専門分野 木工・家具製作
家具作り、木工ワークショップを通じて
木材利用、地域材の活用を考える。
Lindera obtusiloba ダンコウバイ クスノキ科クロモジ属

入学金・授業料

	入学手続き時	前期	後期	計
入学金	169,200円	—	—	169,200円
1年時授業料	—	59,400円	59,400円	118,800円
2年時授業料	—	59,400円	59,400円	118,800円
合計	169,200円	118,800円	118,800円	406,800円

給付金制度

岐阜県緑の青年就業準備給付金

卒業後、林業分野※1へ就業し(就業時年齢45歳未満)、その中核を担うことに強い意志を持っている者に対し、在学期間中、1年間に上限115万円(最大2年間)を準備金として給付する岐阜県の制度です。

対象となる就業先業種※1

- | | | | |
|----|-------------|-----|----------------|
| 林業 | 1. 育林業 | 林業 | 1. 育林従事者 |
| | 2. 素材生産業 | 従事者 | 2. 伐木・造材・集材従事者 |
| | 3. 特用林産物生産業 | | 3. その他の林業従事者 |
| | 4. 林業サービス業 | | |
| | 5. その他の林業 | | |

※ 詳しくは岐阜県公式ホームページ「岐阜県緑の青年就業準備給付金について」をご覧ください。
※ 記載した奨学金制度・給付金制度は令和8(2026)年度の予定であり、変更される場合があります。

高等教育の修学支援(日本学生支援機構)

対象 住民税非課税世帯・それに準ずる世帯の学生
支援内容 授業料・入学金の免除または減額+給付型奨学金の受給
※本校は、高等教育の支援制度の対象校に認定されています。

大垣共立銀行 森林文化アカデミー奨学金

支給額 年額 108,000円 対象者 1年生(1名)
支給期間 2年間

岐阜信用金庫 森林文化アカデミー奨学金

支給額 年額 108,000円 対象者 1年生(1名)
支給期間 1年間(1年時のみ)

十六銀行 森林文化アカデミー奨学金

支給額 年額 108,000円 対象者 1年生(1名)
支給期間 2年間

美谷添奨学金

支給額 年額 100,000円 対象者 2年生(1名)
支給期間 1年間(2年時のみ)

※1学年次に岐阜信用金庫奨学金を受給した者

市町村連携学生支援制度

森林文化アカデミーが連携協定を結んだ市町村から、条件付返還免除のある授業料無利子貸付など多数の学生支援制度が設置されています。
詳しくはウェブサイトをご覧ください。



専修教育部門

森と木のエンジニア科

進学可

対象：高校卒業程度 / 2年制 / 定員20名

森と木のクリエイター科

対象：22歳以上 / 2年制 / 定員20名

一般専修教育部門として、現場に即応できる人材を育成します。「林業コース」「林産業コース」の2つのコースで学びを深めます。



林業コース

林産業コース

高等専修教育として、指導的役割を担う専門家を育成します。「林業」「森林環境教育」「木造建築」「木工」の4つの専攻で学びを深めます。



林業専攻

森林環境教育専

木造建築専攻

木工専攻



GIFU ACADEMY OF FOREST SCIENCE AND CULTURE

岐阜県立森林文化アカデミー

〒501-3714 岐阜県美濃市曾代88番地
TEL 0575-35-2525 FAX 0575-35-2529
E-mail info@forest.ac.jp

募集要項の請求

メール、電話等にて森林文化アカデミー事務局まで請求(無料)してください。
または、アカデミーホームページから様式をダウンロードしてください。

ウェブサイト Web site

森林文化アカデミーについてもっと詳しく！
学校のポリシー、入試情報、授業の様子や卒業生インタビューなど内容充実のHPです。

<https://www.forest.ac.jp/>



Facebook YouTube



岐阜県立森林文化アカデミー



環境にやさしい植物油インキと再生紙を使用しています。